

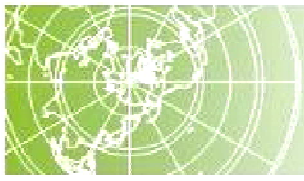
ミライアル株式会社

2016年1月期 第3四半期 決算説明資料

2015年12月9日

2016年1月期 第3四半期決算概要	p. 1
2016年1月期業績予想	p. 7
経営戦略	p. 9





2016年1月期 第3四半期決算概要 ～ 1. 売上高/経常利益の比較

■ 決算概要

✓ 売上高: 6,334百万円 (前年同期比 11.4%減)

プラスチック成形事業(当社グループ主力事業)の主要販売先である半導体業界は、PC販売の減少やスマートフォンの成長率の低下等の影響により、一時的な調整局面を迎えていると考えられ、300mmシリコンウエハの需要も第4四半期に向かい若干の停滞局面を迎えております。

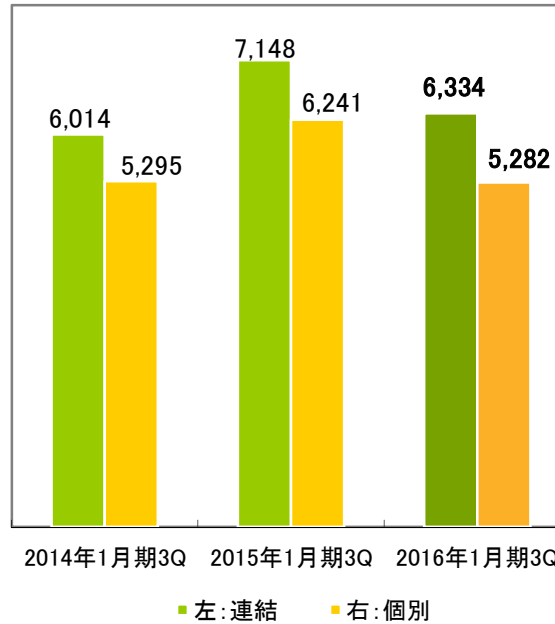
このような経営環境の中、当事業の主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」は、リユースの増加という構造的な要因による新品需要の減少が続いております。

✓ 経常利益: 708百万円 (前年同期比 30.5%減)

コスト削減を図ったものの、生産・販売量の減少が大きく影響し、減益となりました。

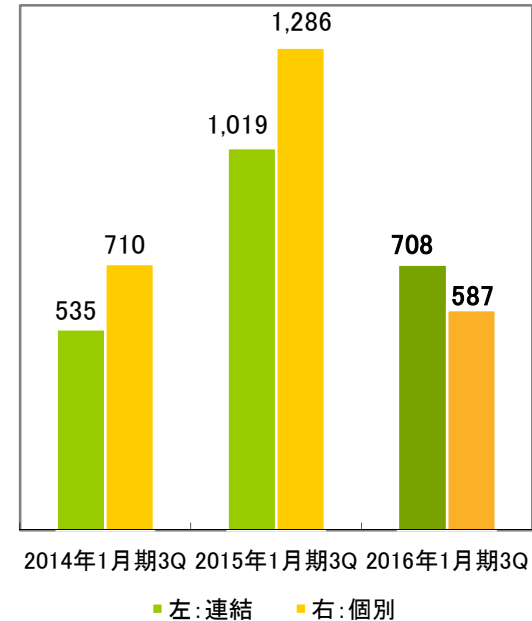
売上高

(単位:百万円)



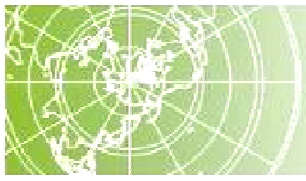
経常利益

(単位:百万円)



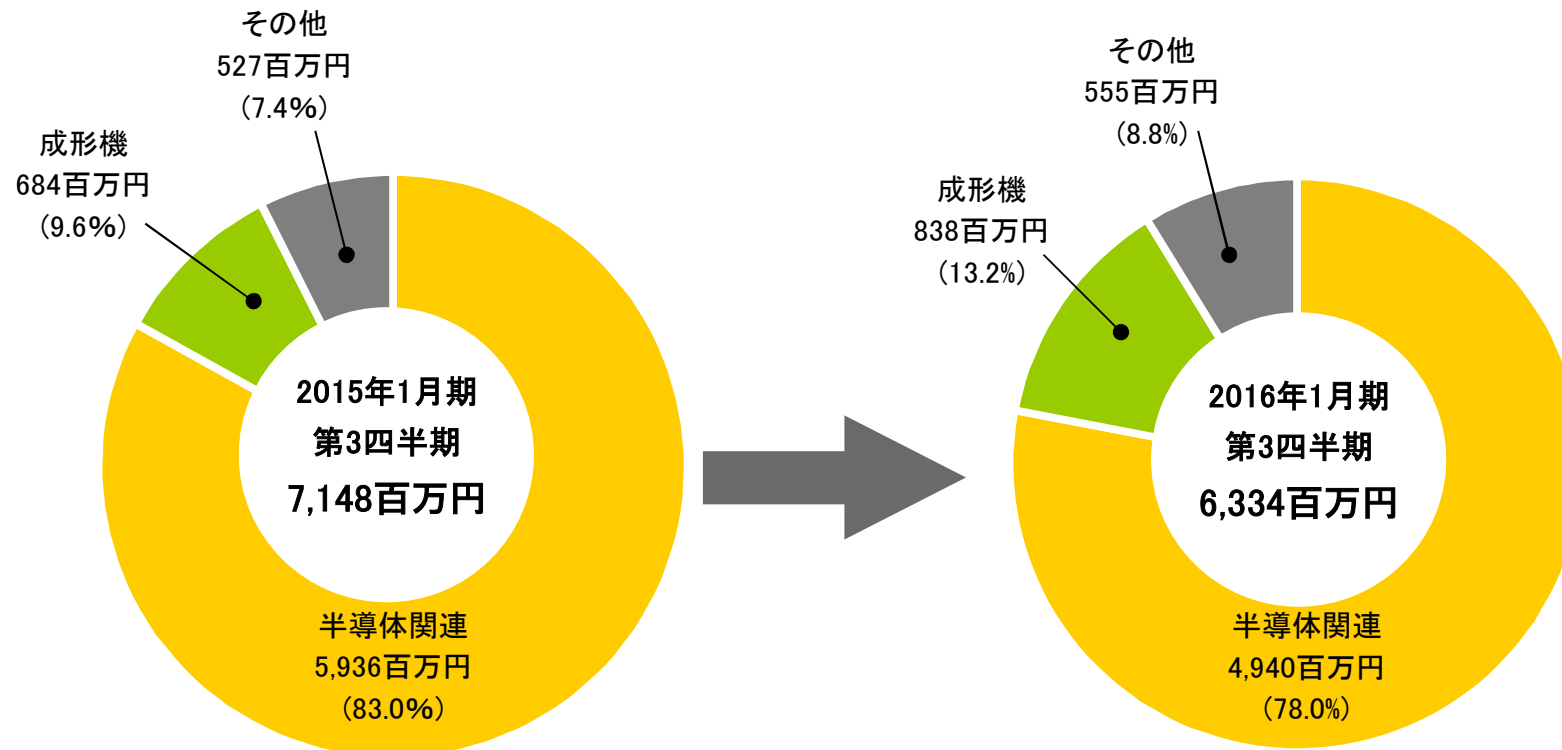
※個別の経常利益は、連結子会社からの配当金を含んでおります。

影響額は2014年1月期において216百万円、2015年1月期において295百万円ですが、連結上は相殺消去しております。



2016年1月期 第3四半期決算概要 ～ 2. 事業別売上高の比較

事業別売上高(連結)





2016年1月期 第3四半期決算概要

～ 3. 業績の概要

連結業績

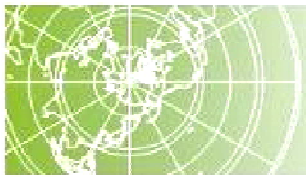
(単位:百万円・%)

	2015年1月期 第3四半期		2016年1月期 第3四半期	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	7,148	18.9	6,334	△11.4
売上総利益	2,126	28.2	1,553	△27.0
営業利益 (営業利益率:%)	842 (11.8)	93.0	441 (7.0)	△47.6
経常利益	1,019	90.4	708	△30.5
税金等調整前 四半期純利益	1,028	92.7	648	△37.0
四半期純利益	704	99.6	448	△36.3
設備投資	286		100	
減価償却	418		411	
純資産	15,524		15,678	
総資産	18,930		18,355	

個別業績

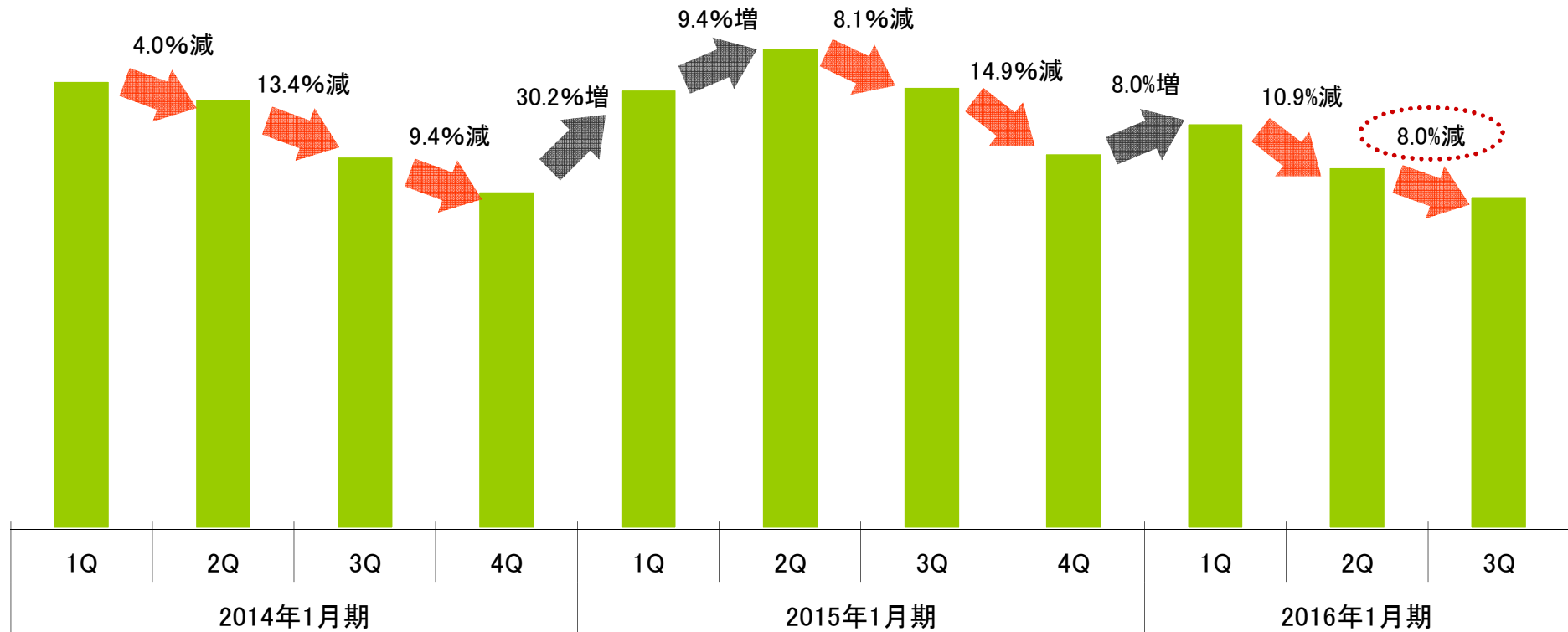
(単位:百万円・%)

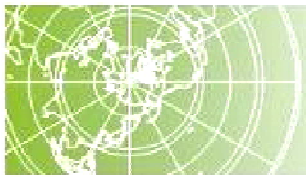
	2015年1月期 第3四半期		2016年1月期 第3四半期	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	6,241	17.9	5,282	△15.4
売上総利益	1,882	32.4	1,257	△33.2
営業利益 (営業利益率:%)	822 (13.2)	99.3	328 (6.2)	△60.1
経常利益	1,286	80.9	587	△54.4
税引前四半期 純利益	1,251	75.4	526	△57.9
四半期純利益	879	66.3	341	△61.1
設備投資	304		83	
減価償却	387		391	
純資産	15,360		15,464	
総資産	18,309		17,558	



2016年1月期 第3四半期決算概要 ～ 4. 半導体関連製品事業の業績

シリコンウエハ出荷容器 売上高の推移 (四半期毎)

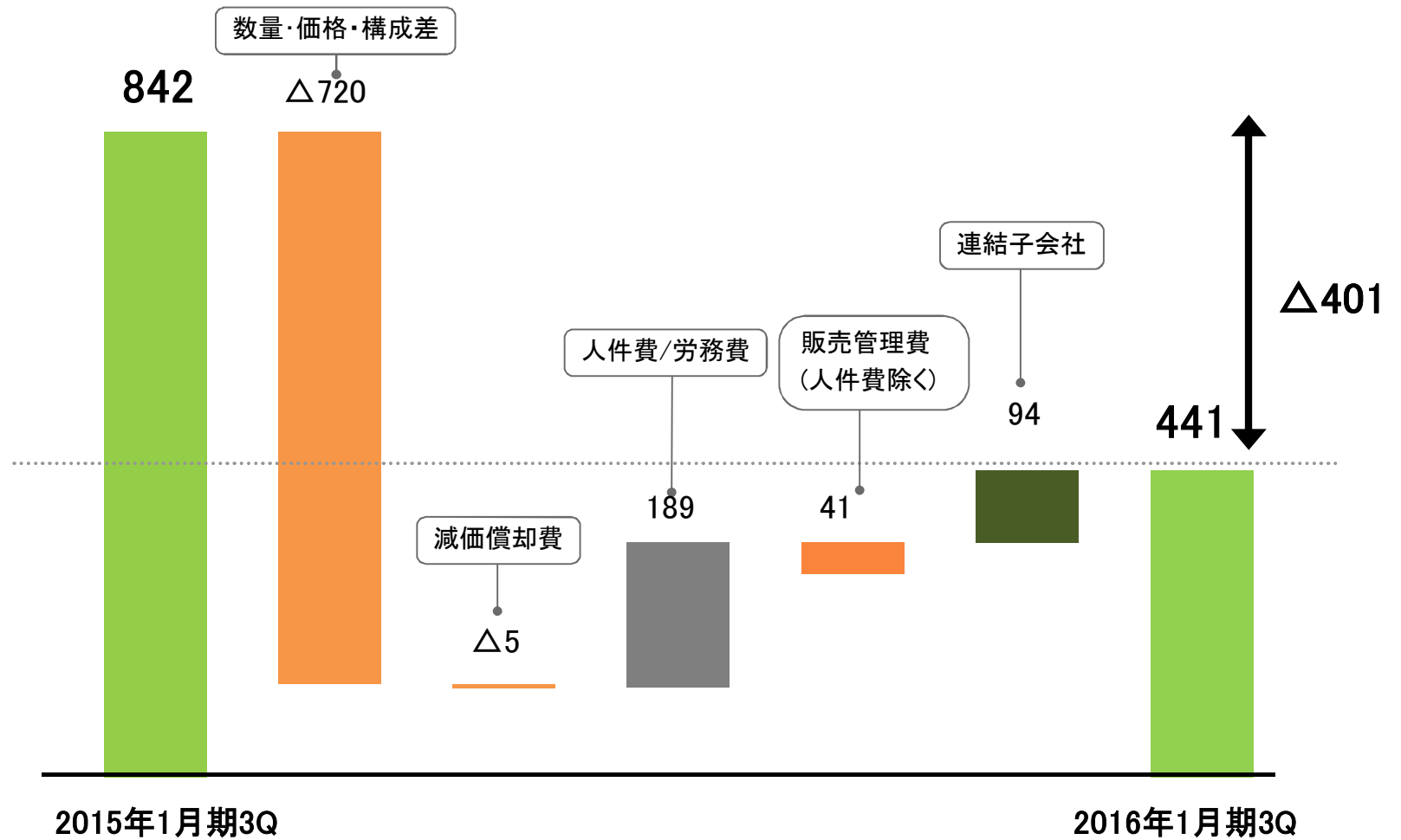




2016年1月期 第3四半期決算概要 ～ 5. 営業利益増減要因分析(連結)

対前年同期比

(単位:百万円)



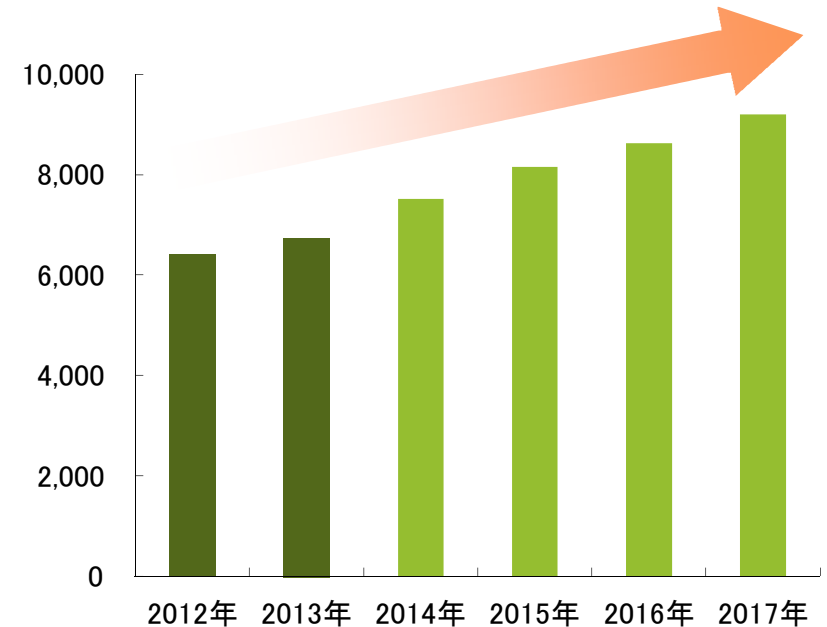


2016年1月期業績予想 ～1. 業績予想サマリー

売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には緩やかな拡大を続けていく見通しです。
- 当社主力製品FOSBによって搬送される300mmウエハはシリコンウエハ市場の牽引役であり、今後も伸長を続けると予想されています。また、小口径ウエハからの移行や、生産用途の拡大等により、一層裾野を広げていく見通しであります。
- FOSBのリユースについては、全体の容器量に対し40%前後で推移していく見込であります(月によって変動有り)。

■300mmシリコンウエハ出荷面積予測(100万平方インチ)



出典: 弊社推測

営業利益、経常利益

- 当社は品質向上と更なるコスト削減による競争力の強化を図ってまいります。
- グループでのコラボレーションを強化し、新分野展開、更なるコストダウンを実施します。
- 成形機事業では、市場動向を注視し、付加価値の高い特殊機に重点を置き、利益の確保に注力してまいります。



2016年1月期業績予想 ～2. 業績予想

損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	2015年1月期 通期累計		2016年1月期			
	金額	前期 増減率	第3四半期累計		通期累計	
			金額	前年同期 増減率	金額	前期 増減率
売上高	9,399	12.5	6,334	△11.4	8,090	△13.9
営業利益	1,063	85.5	441	△47.6	430	△59.5
経常利益	1,259	71.6	708	△30.5	720	△42.8
(当期)純利益	769	73.6	448	△36.3	460	△40.2

事業別売上高

(単位:百万円・%)

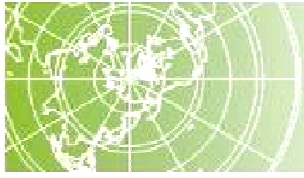
	2015年1月期 通期累計			2016年1月期					
	金額	構成比	前期 増減率	第3四半期累計			通期累計		
				金額	構成比	前年同期 増減率	金額	構成比	前期 増減率
プラスチック成形事業	8,370	89.1	16.3	5,496	86.8	△15.0	6,928	85.6	△17.2
半導体関連	7,647	81.4	18.2	4,940	78.0	△16.8	6,200	76.6	△18.9
その他	723	7.7	△0.9	555	8.8	4.8	728	9.0	0.7
成形機事業	1,028	10.9	△11.2	838	13.2	23.0	1,162	14.4	13.0
合計	9,399	100.0	12.5	6,334	100.0	△11.4	8,090	100.0	△13.9

■ 今年度の配当金は、1株につき中間配当10円、期末配当10円の年間配当20円を予定しております。



経営戦略 ～基本方針

1. 現存事業の競争力強化 コスト削減の徹底と 品質の造り込みにより、 市場でのポジションを 維持・向上。	【プラスチック成形事業】			【成形機事業】
	工程容器 当社コア技術を 応用展開し 新製品開発、 販売チャネル拡大	出荷容器 <u>300mm</u> シェア確保 <u>450mm</u> 市場を注視し覇権獲得	樹脂・金属加工 グループ内での 技術連携 による事業拡大	縦型射出成形機 ・TF機を核とした 縦型の特長を活かし た特殊機拡販 ・機械～金型～装置 のセット販売
2. 新たな収益源の構築 現存事業で培った技術、獲得した資金、 収集した情報等を活かし、 新たな収益源となるべき 新製品開発・新事業構築に取り組む。	新製品開発 ・グループ内技術の深化 ・グループ間連携による新分野開拓		新事業 ・内外のリソースを活用したビジネス領域 の拡大 —社内保有資源の応用展開 —プラスチック成形事業と地続きの 新分野開拓（含 業務提携／M&A）	
	3. グループ基盤の強化 ミライアルグループが保有する、物的資産、金融資産等の「見える資産」を活用し、 人材、技術、お客様との信頼関係等の「見えない資産」の強化に鋭意取り組む。			



本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 管理部

電話: 03-3986-3782 FAX: 03-3986-3853 E-Mail: investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。